

# ユニオン

2025年1月15日 発行

2025年 冬号

<第64号>

編集・発行／社会福祉法人ワークスユニオン 代表／池田直樹 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881

## 第10回 ユニオン展

仕事、がんばってます

私は、こうちんをたくさんもらったので100きんで、スマホのひもとカバーとユニオンでリュックと、はんそでシャツとズボンと、うんどうくつをかいました。リュックはむらさき色をかいました。前からほしかったので、かえてうれしいです。仕事がんばった。だから、こうちんたくさんもらえました。うれしかったです。だからこれからも仕事をがんばりたいです。

次は、おこづかいをためます。金沢にりように行きたいです。「ものづくりたいけん」をしたいからです。くみひもとか、コーヒードヤわんをつくりたいです。

川口 百合香



# 第10回ユニオン展

10th ANNIVERSARY



今年度も11月5日～15日に記念すべき10回目となるユニオン展が「路地カフェ」にて開催しました。この

場所で開催会を始めたのは、2018年からです。それ以前は区役所等で展示を行っていました。「路地カフェ」で展示を始めた理由は、カフェの雰囲気がとても良く、展示スペースがあることに魅力を感じたからです。また、次年度の予約も早めに確保できる点が、展示を行う上で理想的な場所だと感じたためです。

作品はすべての日中支援事業所・グループホーム(以下GH)にも参加してもらっ

ています。そして今回は、追悼展示会として、道田篤史さんの作品も飾りました。

今年度のテーマは「未来」

です。各事業所・GHに「タイトル」「エピソード」を書いてもらい、それぞれの考えを作品に表現してもらいました。各々の思いが伝わる作品が集まると、ユニオン展担当職員は、その作品の展示方法をどのように飾ると見栄えが良いのか悩みながら決めていきました。他に、テーマの「未来」を連想できる展示案を考えて11月のユニオン展を迎えました。生活介護事業所「匠」「和」は、昨年の1月から、新しく創作活動の講師を迎えまし

た。月1度の予定で活動しておりユニオン展でも作品を展示しました。多種多様な部材を使って作品作りに取り組んでいるので、ユニオン展に出品する作品の部材などを全体作品で参考にさせてもらいました。

ある事業所の作品作りでは、利用者さんが飽きない

ように工夫をして、本人のプレッシャーにならないように、時間をかけて取り組んでももらいました。飽きたらその日は止めてもらい、また気持ちが乗らない日は描かなくてもいいというスタンスで接しました。本人の表現を認め励ますことも継続してみました。Aさんも「今日はもうやめとくわ」「もうこれで完成でいいわ」と当初話すことが多かった

ですが、少しずつ出来ていく自分の作品を見て「今日はもうちょっと描こうか」「めっちゃ綺麗になった」など前向きな発言が増えました。後半では、他利用者さんとお互いに作品を褒めあっていました。職員もそのような姿を見て微笑ましく感じました。貼り絵をした事業所では、利用者さんが色を考えてとても個性がでた作品になりました。今までやったことがない部材ややり方で創作したことで、利用者さんにも楽しそうにされていました。

次年度取り組むにあたって、しっかりとゴールを決めてそれに向けて結果が見

える取り組みになるよう努力していきたいと考えています。ユニオン展を担当して改めて感じたことは、私自身、絵やアート等からは、ほど遠い世界で生きてきたので、今年度アートの研修に行くまでは正直そこまで入り込むことはなかったですが、知らない世界を見て色々と感じるものが出来ました。色んな物を自身の目で見たことで無意識でも自然とアートに関する事が目に留まったり、情報をインプットして実際試したりすることが多くなりました。

自分が学んだ事を、同じ熱量になるように他職員や利用者さんにどのようにしたら伝わるのかを考えることがとても難しかったです。継続して作品展を行うことで毎年、自分の作品を出す事が楽しみになっている利用者さんも増えてきています。これからも利用者さんが楽しんで表現できる機会を考えたいと思います。(島村)



## グループホーム旅行記



今年度も旅行のシーズンが始まりました。グループホームでも各利用者さんが思い思いの場所へ旅行に出かけています。今年の利用者さんの旅行体験はどんなものだったのでしょうか。それぞれ紹介したいと思います。

## ◆鉄道が大好きなAさんは

福岡県、北九州の門司にある、九州鉄道記念館まで出かけました。初日は山口県を経由、コバルトブルーに囲まれた絶景島の角島を観光。角島では大好きなソフトクリームを頬張りながら、島から見える日本海の波の様子を穏やかな表情で眺めていました。夜には旅館で懐石料理に舌づつみをうち満足そうにされながら初日を終了。

二日目は九州鉄道記念館を見学。記念館では実際に走っていた、「月光」や「にちりん」といった往年の名列車に乗り込み、興味深そうに座席や寝台を触っていました。体験ができるようなコーナーがなかったのが

少し残念なところでした。

今回の旅行では随所で記念の写真をたくさん撮影しましたが、声をかけるたびに本人が少しニコツとしながらポーズをとっていたことが印象に残ります。



◆将棋が好きなBさんは、将棋の駒作りで有名な山形県天童市まで出かけました。初日には将棋の駒作りを体験、これがなかなか難しい作業で、ご本人も悪戦苦闘

していました。夜にはホテルで山形牛の料理を堪能して初日を終了。

二日目に楽しみにしていた最上川船下りが大雨の影響でキャンセルになったことが残念でしたが、午後から王将果樹園を訪れ、ここで食べたフルーツパフェはすごく美味しかったようで、いい思い出ができたと話していました。

Bさんはいつもお土産購入を楽しみにしており、今回の旅行でもグループホームの仲間や自分自身にもお土産を購入し満足そうな表情をしていました。

◆Cさんも埼玉県にある『鉄道博物館』と『東京ディズニーシー』に行きました。

鉄道博物館の醍醐味は、転車台に乗せられたSLが一周する姿を間近で鑑賞できることです。汽笛も鳴動するので、迫力満点でCさんも満足していました。

宿泊先のホテルのお部屋に着くと、『東京ディズニーシー』のアトラクションで

上がる打ち上げ花火が見えるサプライズ演出もありました。行くなら昨年6月に出来た『ファンタジースプリングス』に行ってみたいとのことで、翌朝は早起きして開園待ちの行列に1時間近く並びました。そして、すぐに配布終了なことで有名なエリア入場券をゲット！Cさんにも喜んでもらえたことで早起きの疲れが吹っ飛びました。

「アトラクションに乗るよりも雰囲気を楽しみたい」と言われたため、パーク内を散策していましたが、トロッコ電車のアトラクションを見つけ、すぐに乗車しました。さすが、鉄道好きです。

昨年は『東京ディズニーランド』に行ったため、「どちらが楽しかったですか？」と尋ねると「両方！」という返事。全力で鉄道と夢の国の魔法を満喫した2日間でした。

◆楽しいところが大好きなDさんは伊勢志摩方面へ出

かけてきました。初日は志摩スペイン村を訪れ、好きなキャラクターのパレードを見ることができて良かったです。ホテルでの夕食も自分の好きな日本料理を食べて、大変おいしかったと話していました。二日目の鳥羽水族園ではかわいらしい熱帯魚が印象に残り、また行いたいなあと、笑顔で旅行を振り返っていました。



毎日の喧騒をわすれ、大自然や、普段見ない光景を見る非日常体験は、毎日仕事を頑張る利用者さんにとつて、旅行に出かけることを目標にモチベーションを高める意味でも意義があることだと思います。今後も利用者さんの希望を聞きながら計画していきたいと思っています。

(濱野・高橋)



## 秋のバーベキュー

## 野外活動



「匠」

10月18日(金)今年も野外活動でバーベキュー(以下、BBQ)に行きました。

去年は、「鶴見緑地公園」の自然の中でBBQを行いました。今年も野外活動でバーベキュー(以下、BBQ)に行きました。去年は、「鶴見緑地公園」の自然の中でBBQを行いました。今年も野外活動でバーベキュー(以下、BBQ)に行きました。

BBQ場は、元々校舎の屋上にあるプールだった場所なので、景色が良く開放的で、とても不思議で新鮮な気持ちになりました。利用者さんも「ここ元々プールやっ

たんや！おもしろいな！」

「匠の近くにこんな所があったんや！」などテンションが上がっていました。

そんな特別な空間でジュースやビールで乾杯し、美味しいお肉や野菜、焼きそばなどをメインに変わり種のドーナツやパームクーヘンも焼いて食べて楽しいBBQになりました。

この日は気温が高く、汗ばむくらいでしたが、BBQの時間帯は曇っていて丁度良い気温の中過ごせました。

行事や活動に参加したいと希望している利用者さんが、皆で一緒に参加して楽しいひと時を過ごせるようにこれからも考えていきたいと思っています。

(横田)

## 「ワークス集」

昨年11月22日(金)、ようやく秋らしさが出てきたこの日に「ワークス集」(以下、

「集」は、鶴見緑地公園でBBQを行いました。昨年同じ場所で行いましたが、前回の7月に行った時とは違い、緑々とした木々も赤や黄色などに染まり、大量の落ち葉がじゅうたんの様になり会場内を彩っていました。

会場に到着してすぐにBBQを始め、各テーブルで、お肉を頬張り、ジュースを飲み、会話を楽しみ、あつという間にお肉が無くなりました。お肉を焼いた後に焼きそばを職員が作っていると、

「あつちの職員の焼きそばもおいしそうだな」とある利用者さんが言い、職員が作った焼きそばの食べ比べをしていました。どの焼き

そばも美味しくて甲乙つけ難く、全部の焼きそばが美味いと言っていました。風が吹くと落ち葉が舞い、BBQのコンドロの中に入り「葉

っぱも食べるの？」と誰かがいいみんなを笑わせてくれました。

今年度の4月に3名の利用者さんが「集」に異動してきました。利用者さん同士、当法人内の事業所で一緒に働いたこともあり、異動後すぐ打ち解けていました。賑やかで明るい雰囲気の中、「集」の一員となりました。

BBQを終えた後は公園内を散策ながら、退職する職員に労いの言葉をかけたり、一緒に「集」で過ごしたこと色々と話したりと、名残惜しそうにしていました。楽しくもあり寂しくもある野外活動でした。(川口)

## 編集後記

▼芸術の秋。秋というには

気温がやや高く、最近ようやく上着を羽織るようになったこの頃。節目の十回を迎えたユニオン展で作品を観ていて「どのように作ったのだろう」と、ふと思った。

▼学生の頃、美術の授業で「ゲルニカ」という絵の模写をしたことがある。その絵の左側にある灯火を差し出す人の絵を何の気なしに描いたとき、そばを通った先生にすごく褒められた。気をよくして次に隣の絵を描こうとしたところ、顔の輪郭や目がどうしても上手く描けず何度か描き直すことになった。結局、上手く描けず芸術家への思いは遠のいたが、思えば褒められたことで今も強く記憶に残っているのだろう。▼利用者さんと何かを一緒にする時には、些細なことでも良いところに着目して言葉をかけたと思う。

(N)